バレンタインデー（おやつ）

バレンタインデーは、長く女性から男性への愛の贈りものという位置付けでしたが、ここ数年は、「頑張っている自分へのご褒美」や、仲の良い女友達、女子会仲間へチョコレートをプレゼントするという流れも見られています。

日本にチョコレートが伝来したのは江戸時代とされています。日本チョコレート・ココア協会によると、チョコレートに関する最も古い記録は1797年長崎。当時の外国との交易の窓口、長崎の遊女町だった丸山町・寄合町の「寄合町諸事書上控帳」にその記録があるそうです。その頃のオランダ人はチョコレートを薬としていて、その形状は獣の角の形で、淡泊。薬としての食し方は、熱湯の中に角状のチョコレートを三分削り、卵１個と少量の砂糖加え、茶せんで茶を点てるが如く、かき混ぜて飲用していたそうです。

更に古くは、マヤ王国の王たちが不老長寿の薬として珍重してきた・・・との記録もあります。

「本命チョコ」「義理チョコ」「家族チョコ」「友チョコ」「マイチョコ」など、現在は誰もが楽しめるようになった日本のバレンタインデー。皆さんはどんな「〇〇〇チョコ」でしたか？

バレンタインデーのおやつは
ふわふわのチョコムース